

# 令和4年小田原市議会9月定例会 厚生文教常任委員会資料

資 料 名	所 管 課	頁
感染症予防事業（オミクロン株対応ワクチン接種等）について	健康づくり課	1
感染症予防事業（抗原検査キット配布）について		2
子育て世帯応援事業について	子育て政策課	3
新病院建設に伴う埋蔵文化財調査に係る山留壁設置等事業について	病院再整備課	5
放課後児童クラブ運営委託料について	教育総務課	6
学校給食事業（学校給食費検討委員会の開催）について	学校安全課	7
学校給食センター整備事業（建設予定地用地取得）について		8

令和4年9月8日

## 感染症予防事業（抗原検査キット配布）について

### 1 目的

新型コロナウイルス感染症は、感染力が強い「BA.5」系統へ置き換わりが進み、これまでの感染の波をはるかに上回るスピードで拡大している。

現在の第7波の感染拡大を踏まえ、今後の感染拡大時にも医療機関における診療体制の確保や、高齢者施設や保育所等において従事職員が濃厚接触者であっても早期復帰によって社会機能を維持するための体制確保ができるよう、施設等に抗原検査キットを配布する。

### 2 対象

クラスター対策や社会機能を維持するための体制確保が必要な施設等  
（高齢者施設、保育所等）

### 3 配布予定数

約 24,000 個

### 4 財源

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

# 【厚生労働省】第16回新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会資料

## オミクロン株に対応した新型コロナワクチンの接種体制確保について

### 1. 基本的な考え方

- 分科会では、オミクロン株対応ワクチン接種を予防接種法に基づく予防接種に位置づける方向で検討していくこととされた。
- 接種の実施やその対象者、接種間隔等の接種方法については、今後得られるデータや諸外国の動向等を踏まえ、引き続き審議する。
- 各自治体は、オミクロン株対応ワクチン接種を実施することとなった場合に備え、接種券や会場の手配等、準備を進めること。

### 2. 接種対象者について

- 現時点では、初回接種を完了した**12歳以上**の全ての住民を対象に実施することを想定して準備を進めること。

### 3. ワクチンの種類及び供給について

- 分科会では、オミクロン株と従来株に対応した2価ワクチンを使用することが妥当であるとされた。
- 薬事上の承認がなされれば、**9月半ば過ぎには順次国内配送が可能となる予定**。

### 4. 接種の開始時期等について

- **9月半ば過ぎに前倒して配送される2価のオミクロン株対応ワクチンについて、まずは、重症化リスクが高い等の理由で、現行の4回目接種の対象となっている者であって、当該接種を未実施であるものを対象に接種する。**
- **4回目接種の一定の完了が見込まれた自治体においては、配送ワクチンの範囲内で、社会機能を維持するために必要な事業の従事者や年代別など、その他の初回接種が完了した者へ移行する。**
- **これら以外の初回接種を完了した者への接種は、引き続き、10月半ばを目途に準備を進める。**
- 特例臨時接種の実施期間を**令和4年度末までの延長の方向で調整**している。

### 5. 予算について

- 体制確保に必要な費用については、引き続き、国が全額を負担する方針のもと、必要な予算については今後措置する予定。

### 6. 接種券の発送準備について

- **今年10月半ばを目途**として、初回接種を完了した全ての住民を対象に接種を開始することを想定して、接種券の発送準備を進めること。
- **まずは3回目完了者であって接種券未配布の者の接種券について優先的に配布することを検討すること。**
- **従来ワクチンの4回目接種完了者については、接種時期が到来した際に接種可能となるよう、順次配布準備をすること。**
- **その他の者へ改めて配布する場合は、一律新規配布、申請方式による配布など、自治体ごとの柔軟な対応を行って差し支えないこと。**

### 7. 事務運用について

- 基本的には自治体向け手引き第5章「追加接種（3回目接種、4回目接種）」と同様の運用を想定している。

## オミクロン株対応ワクチンの接種対象者及び接種の開始時期について

### 接種対象者

分科会では、1価の従来ワクチンと比較した、2価のオミクロン株対応ワクチンによる追加接種の有効性について、

- ・ 現在、流行しているオミクロン株に対応した成分が含まれるため、**従来ワクチンを上回る重症化予防効果や、短い期間である可能性はあるものの、感染予防効果や発症予防効果も期待されること**
- ・ オミクロン株とオリジナル株の両方の成分を含み、2種類の異なる抗原が提示されることから、これらにより得られる**多様な免疫反応は、今後の変異株に対しても有効である可能性がより高いと期待されること**が確認された。

上記の科学的知見を踏まえると、オミクロン株対応ワクチン接種は、**初回接種を完了した12歳以上の全ての者を対象**とすることを想定することが妥当との見解が示された。

国としては、引き続き、知見の収集に努めていくところであるが、現時点では、引き続き、初回接種を完了した12歳以上の全ての住民を対象に実施することを想定して準備を進めていただきたい。

### 接種の開始時期

オミクロン株対応ワクチンは、薬事上の承認がなされれば、9月から輸入を一部前倒して開始する見込みであり、**9月半ばには順次国内配送が可能となる予定**。分科会では、

- ① **9月半ばから前倒して配送されるオミクロン株対応ワクチンについては、まずは、重症化リスクが高い等の理由で、現行の4回目接種の対象となっている者であって、当該接種を未実施であるものを対象に、接種を開始すること**
- ② **4回目接種の一定の完了が見込まれた自治体においては、配送ワクチンの範囲内で、社会機能を維持するために必要な事業の従事者や年代別など、その他の初回接種が終了した者の接種へ移行すること**
- ③ **これら以外の初回接種を終了した全ての者へのオミクロン株対応ワクチンの接種については、引き続き、10月半ばを目途として準備を進めること**

といった方向性が確認された。

国としては、引き続き、知見の収集に努めていくところであるが、上記①～③の方向性に沿って、オミクロン株対応ワクチン接種の準備を進めること。

# 子育て世帯応援事業について

## 1 目的

新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受ける子育て世帯と市内の商業者を支援するため、市内の商店街等で使用できる応援券（商品券）を発行し、子育て世帯に交付する。

## 2 実施主体 小田原市・小田原市商店街連合会

## 3 応援券概要

- (1) 名称 (仮称) おだわら子育て世帯応援券
- (2) 使用期間 令和4年(2022年)12月1日から令和5年(2023年)1月31日まで(2箇月間)
- (3) 交付対象 令和4年9月30日時点の住民登録者のうち、18歳以下(令和5年3月31日時点)の子ども(約27,000人)がいる世帯(約16,000世帯)
- (4) 発券方法 紙媒体
- (5) 交付額面 子ども1人につき1冊(10,000円分)
- (6) 交付方法 世帯主宛て簡易書留等にて郵送(※1世帯につき1通)
- (7) 発行総額 270,000千円
- (8) 取扱店舗 市内約1,100店舗

## 4 予算額 288,000千円

(財源 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

- (1) 事業費内容 子育て世帯応援事業費負担金

(内訳) 換金分 270,000千円

事務費分 18,000千円

〔 応援券・店舗ステッカー等印刷製本費、応援券封入封かん発送業務委託料、郵送料、周知経費、換金業務・問い合わせ対応等人件費ほか 〕

- (2) 負担金支出先 小田原市商店街連合会(※事業実施に関する協定を締結)

## 5 スケジュール

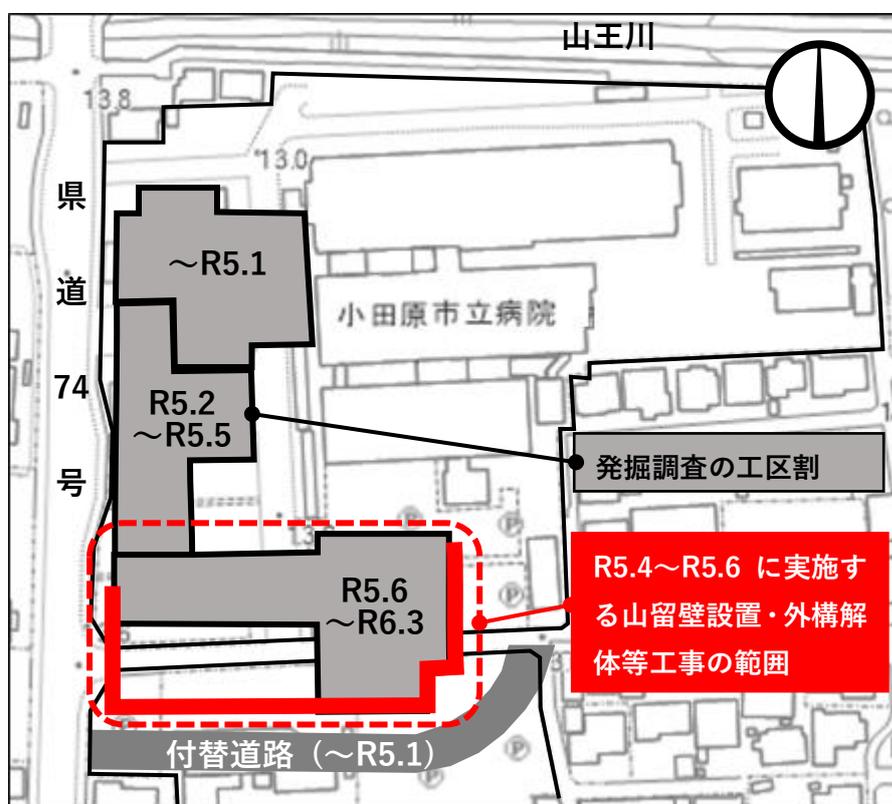
項目	令和4年				令和5年	
	9月	10月	11月	12月	1月	2月
取扱店舗へ説明		→				
応援券印刷		→				
応援券発送			→			
応援券使用期間				→	→	→
換金					→	→

## 新病院建設に伴う埋蔵文化財調査に係る山留壁設置等事業について

### 1 概要

- ・ 来院者等の駐車場確保のため、令和4年度（2022年度）に予定していた山留壁設置等工事の一部を令和5年度（2023年度）に実施する。
- ・ このため、新病院建設に伴う埋蔵文化財調査に係る山留壁設置等事業に係る継続費の期間を令和5年度まで延長し、令和4年度の年割額の一部を減額して令和5年度の年割額とする。

（参考図）発掘調査の工区割及び令和5年度に実施する山留壁設置等工事の範囲



### 2 補正予算の内容

令和3～4年度から令和3～5年度に延長し、その年割額は次のとおりとする。

区分	継続費の総額	令和3年度	令和4年度	令和5年度
当初	300,000千円	90,000千円	210,000千円	—
補正後	300,000千円	90,000千円	149,700千円	60,300千円

### 3 その他

- ・ 確保できる駐車区画は、令和5年2月～5月頃の間、第1駐車場内に約60台（第2駐車場（市道南側）を含めると約180台）である。
- ・ 新病院建設事業に係る全体スケジュールの変更はない。

## 放課後児童クラブ運営委託料について (放課後児童支援員等処遇改善に伴う増額)

### 1 事業概要

令和4年(2022年)2月から9月までの間、国の交付金を財源に、新型コロナウイルス感染症への対応など、教育・保育の現場の最前線で働く放課後児童支援員等の処遇の改善(収入の3%(月額9,000円)程度引上げ)を図っている。

令和4年10月以降も、子ども・子育て支援交付金(国1/3、県1/3)を財源に、処遇の改善を継続して実施する。

### 2 対象者

市内24小学校に設置している放課後児童クラブで勤務する放課後児童支援員等(約220人)

### 3 予算額

委託料6,521千円(財源 子ども・子育て支援交付金(国1/3、県1/3))

### 4 実績(令和4年7月勤務実績分まで)

年度	月	対象者	改善額(1人当たり)	改善額(計)
3	2	225人	4,821円	1,084,900円
	3	227人	4,822円	1,094,800円
4	4	204人	5,354円	1,092,300円
	5	212人	5,178円	1,097,800円
	6	210人	5,212円	1,094,500円
	7	211人	5,198円	1,096,700円

## 学校給食事業(学校給食費検討委員会の開催)について

### 1 目的

コロナ禍等による給食材料費の価格高騰が続く状況の中で、給食の質・量の確保、安心・安全な地場産物の積極的な利用促進など、学校給食の諸課題について調査審議するため、学校給食費検討委員会を開催する。

### 2 事業概要

市長からの諮問に応じ、令和5年度以降の適切な給食材料費や学校給食の諸課題について調査審議し、市長に意見具申する。

委員構成 学識経験者1名、児童及び生徒の保護者代表2名、小学校長1名、  
中学校長1名、幼稚園長1名、学校栄養職員2名 計8名

会議開催 4回予定

### 3 予算額

107千円 報酬 66千円  
旅費 41千円

# 学校給食センター整備事業（建設予定地用地取得）について

## 1 概要

老朽化が著しい小田原市学校給食センターを建て替えるに当たり、上下水道局が所有する第三水源地資材置場を建設用地として取得する。

## 2 取得用地の詳細

- (1) 取得用地の場所 小田原市成田 1111 の一部、1112  
(上下水道局第三水源地資材置場)
- (2) 取得予定面積 4,000.95 m<sup>2</sup>
- (3) 不動産鑑定評価額 261,048,081 円
- (4) 所有者 小田原市上下水道局
- (5) 取得時期 令和4年(2022年)11月(予定)

## 3 事業費

(千円)

	事業費(歳出)	歳入	
		市債	一般財源
公有財産購入費	251,512	235,700	15,812

不動産鑑定評価額から、令和3年度に一般会計の予算で執行した上下水道局高田浄水場敷地内の既存建物の解体費用(9,537千円)を控除した金額

## 4 位置図



# 感染症予防事業（オミクロン株対応ワクチン接種等）について

## 1 経緯

新型コロナウイルスワクチン接種については、国において、オミクロン株対応ワクチン接種を予防接種法に基づく予防接種に位置づける方向で検討しており、接種を実施することとなった場合に備え準備を進めるよう通知された。

これを踏まえ、これまで実施している4回目接種までの期間延長にも備えるとともに、オミクロン株対応ワクチン接種の実施に向けた体制確保及び接種体制の整備を行う。

## 2 事業費 1,960,875 千円

コールセンター等運營業務委託料、集団接種運營業務委託料、接種委託料、接種券郵送料、広告掲載料 等

## 3 財源

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金（10/10）

新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金（10/10）

## 4 対象者

初回接種を完了した全ての市民及び5歳以上の接種可能なワクチン未接種者  
（約18万4,000人）

## 5 スケジュール（オミクロン株対応ワクチン接種分）（予定）

令和4年 10月上旬	接種券発送開始
10月中	予約受付開始
10月中	集団及び個別接種開始

※初回接種及び小児接種は、引き続き実施